

エコアクション21

環境活動レポート

〔期間 平成20(2008)年10月～平成20年12月〕

作成日：2009年3月18日



IKK 石川金網株式会社
ISHIKAWA WIRE NETTING CO.,LTD.

事業内容

事業所名	石川金網株式会社
代表者名	代表取締役社長 石川幸男
所在地	〒116-0002 東京都荒川区荒川5-2-6
電話番号	03-3807-9761
FAX番号	03-3807-9764
環境管理責任者	石川 カオリ
E-mail	info@ishikawa-kanaami.com
事業内容	金属加工業・金網フィルターの製造販売
資本金	3千万円
従業員数	30名
売上高	860百万円('08年度)
事業所の総床面積	1,906㎡

環境方針

基本理念

当社は、地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、社員一人一人が自覚を持ち、環境負荷の継続的
低減及び持続的に発展できる経済社会の実現に寄与すべく努めることに全社一丸となって取り組みます。

当社は、すべての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、当社の全事業活動におい
て、特に以下の環境保全活動を推進します。

行動指針

1. 金網製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。
2. 金網製品製造の事業活動を通じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。
3. 金網製品製造の事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。
4. 金網製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。

2008年9月20日 制定

石川金網株式会社

代表取締役社長 石川幸男

環境目標とその実績

〔年度：1月～12月〕

環境方針	環境目標と実績						
	項目	施行期間 平成20年10月～12月		今年度目標 平成20(2008)年度		中長期目標 平成24(2012)年度	
		目標	実績 (達成率)	目標	実績 (達成率)	目標	実績 (達成率)
1 金網製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	101 営業車両から出る二酸化炭素を削減する (ガソリン車)	各車両の燃費をH19(2007)値から0.5%削減する	92%	各車両の燃費をH19(2007)値から0.5%削減する	78%	各車両の燃費をH19(2007)値から5%向上させる	
	102 製造車両から出る二酸化炭素を削減する (軽油車)	各車両の燃費をH19(2007)値から0.5%削減する	97%	各車両の燃費をH19(2007)値から0.5%削減する	83%	各車両の燃費をH19(2007)値から5%向上させる	
	103 事務・営業部門から出る二酸化炭素を削減する。	電力使用量をH19(2007)値から0.5%削減する	77%	電力使用量をH19(2007)値から0.5%削減する	73%	電力使用量をH19(2007)値から1%削減する	
	104 製造部門から出る二酸化炭素を削減する (電灯電力)	電力使用量をH19(2007)値から0.5%削減する	115%	電力使用量をH19(2007)値から0.5%削減する	109%	電力使用量をH19(2007)値から1%削減する	
	105 製造部門から出る二酸化炭素を削減する (動力電力)	電力使用量をH19(2007)値から0.5%削減する	100%	電力使用量をH19(2007)値から0.5%削減する	89%	電力使用量をH19(2007)値から1%削減する	
2 金網製品製造の事業活動を通じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	201 事務部門/営業部門から出る事業系一般廃棄物を削減する。	事業者への委託量を測定、把握する	100%	事業者への委託量を測定、把握する	100%	事業者への委託量をH19(2007)値から3%削減する	
	202 製造部門から出る産業廃棄物を削減する。	売上高百万円あたりの再資源化物(金属屑)排出量の比率をH19(2007)値から1%削減する	100%	売上高百万円あたりの再資源化物(金属屑)排出量の比率をH19(2007)値から1%削減する	97%	売上高百万円あたりの再資源化物(金属屑)排出量の比率をH19(2007)値から5%削減する	
3 金網製品製造の事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。	301 水の総使用量を削減する。	水の総使用量をH19(2007)年度から1%削減する	98%	水の総使用量をH19(2007)年度から1%削減する	67%	水の総使用量をH19(2007)年度から5%削減する	
4 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。	401 環境方針の全社的展開	環境目標、環境活動計画の策定絵の従業員の参画	80%	環境目標、環境活動計画の策定絵の従業員の参画	75%	全従業員が環境活動計画を分担する	

※ 車両から出る二酸化炭素のH19からの削減数値は、H19の燃費データがとってない為、燃料使用量数値とした。

※ 製造部門から産業廃棄物の売上高百万円当たりの数値が売上減に対し未達なのは、5Sによる不要金属処理のため。

主要な環境活動計画の内容

◎目標達成 ○改善されてきている △現状維持 ×悪化している

環境方針	環境目標	環境活動計画[平成20(2008)年10月～12月]	判定
1 金網製品製造の事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組めます。	101 営業車両から出る二酸化炭素を削減する (ガソリン車)	101① 各車両の燃費の月別測定・監視	×
		101② エコドライブの徹底	×
	102 製造車両から出る二酸化炭素を削減する (軽油車)	102① 各車両の燃費の月別測定・監視	×
		102② エコドライブの徹底	×
	103 事務・営業部門から出る二酸化炭素を削減する。	103① 必要ではない照明、電源を消す	×
		103② エアコンの設定温度を夏28度、冬22度を目安とする	×
104 製造部門から出る二酸化炭素を削減する (電灯電力)	104① 必要ではない照明、電源を消す	◎	
	104② エアコンの設定温度を夏28度、冬22度を目安とする	◎	
105 製造部門から出る二酸化炭素を削減する (動力電力)	105① 必要ではない機械電源を消す	◎	
	105② 必要ではない照明を消す	◎	
2 金網製品製造の事業活動を通じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組めます。	201 事務部門/営業部門から出る事業系一般廃棄物を削減する。	201① 分別の徹底により再資源化物を増やす	○
		202① 効率の良いカッティングなどを工夫する	○
3 金網製品製造の事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組めます。	301 水の総使用量を削減する。	301① 水を使用する場合な、こまめに蛇口を開閉するなど節水に心がける	△
4 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組めます。	401 環境方針の全社展開	401① 全従業員の環境方針カードの常時携帯	△
		401② 部門別環境目標、環境活動計画の策定化の検討	○

環境活動の取組結果の評価

(活動期間:平成20(2008)年10月～12月)

1. 車両から出る二酸化炭素の削減の目標値をクリアできなかった原因として、車営業を増やしたことが考えられる。今後はホームページの充実とダイレクトメールによる顧客の拡大で売上アップにつなげる。(エコドライブはさらに推進する)
2. 事務および営業分の電気使用が大幅に目標値を割り込んだのは、無駄な会議やこまめな電気消し、およびエアコン温度設定の不徹底にあったと思われる。これから夏に向けエアコン温度設定の徹底を特に目標とする。

3. 全体的に社員の意識が、すべてにおいてエコと言うことを理解できなかったのではないか。今後日々の業務を進める中でさらに地球環境エコを合言葉に意識を高めたい。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 環境法規制の遵守状況

法令の名称	関連する施設・適用項目	遵守状況
廃棄物の処理および清掃にかかわる法律	可燃ごみ 不燃ごみ 資源ごみ (一般廃棄物)	○
荒川区廃棄物の処理および再利用に関する条例	金属スクラップ (事業系廃棄物)	○
廃棄物処理法	廃プラ 紙 木屑 廃油 産業廃棄物保管施設	○
東京都公害防止条例	認可工場	○
労働安全衛生法	安全衛生推進者	○
自動車NOx・PM法	所有車両	○
オフロード法	フォークリフト	○

2. 訴訟の有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの重大な違反等の指摘は、過去三年間ありません。